

秋になると「〇〇の秋」という言葉を目にしますが、「読書の秋」といわれるようになったきっかけをご存じでしょうか。

夏目漱石の『三四郎』という作品の中に、韓愈（かんゆ）という文人が詠んだ「灯火親しむべし」という詩があります。この詩は、「秋は過ごしやすい季節だから、夜には明かりを灯して読書するのに最適だ」という意味があるのだそうです。

この詩を夏目漱石の『三四郎』という作品に取り上げたことで「読書の秋」といわれるようになったという一説があります。

過ごしやすい秋の夜長はじっくりと読書をしてみるのもいいですね。

パイプシステム通信編集部

2023年10月18日～20日

2023東京水道展

(一般社団法人 日本水道工業団体連合会主催)

「2023東京水道展」が2023年10月18日から3日間、東京ビッグサイト（西展示棟3・4ホール）で開催されます。

展示会ではクボタグループの取り組みとして「水道の未来」をテーマに水道事業全体の課題解決に向けた新しいコンセプトについて発信する予定です。ぜひ弊社ブースNo.43にお立ち寄りください。

また、同日開催の水道研究発表会では、論文発表も行っております。

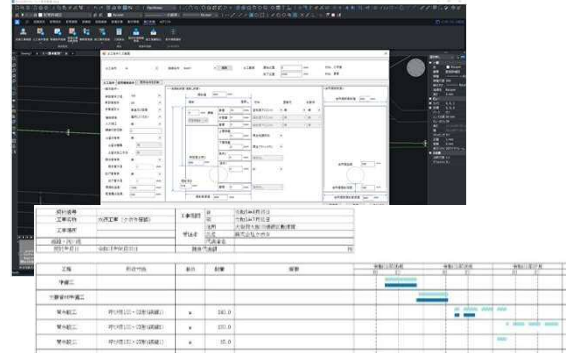
クボタスマート水道工事システム PIPROFESSOR 施工計画システム

弊社では、水道事業体様や工事会社様が行っている水道管路工事の設計から施工までの一連の業務を効率化するため、スマート水道工事システムの新サービス

『Piprofessor（パイプロフェッサー）』の販売を開始しました。

本サービスは「自動配管設計支援システム PIPE-pro」「施工計画システム」「施工情報システムⅡ」「提出書類作成支援システム」の4つのアプリケーションで構成しています。

今回は、アプリケーションの一つである「施工計画システム」をご紹介します。作成したCADシステムの配管図上に土工条件・現場条件等を入力することにより、施工計画や出来形管理・工事写真管理計画等を自動で作成することが可能です。



1. 自動で工程算出・工程表作成

設計情報及び設定条件から、計画工程や出来形管理位置を自動算出し、日週月等の各種工程表を自動作成

2. 高精度な工程算出アルゴリズム

水道工事の実施工程に近い工程計画を算出する工程算出アルゴリズムを開発

3. システム連携で作業時間を大幅短縮

自動配管設計支援システムから設計情報を取り込み、入力作業を大幅に軽減

4. 各種提出書類を自動作成

工事着工前から工事期間中、完成後に必要となる各種提出書類を自動作成

100年後も安定した供給を ～願いを込めた「タイム送水管」～

本市水道局では、昨年度より5ヶ年計画で進めている送水管の更新工事（整備区間約2.7km）において、市民のメッセージが記された「タイム送水管」を埋設しました。

「タイム送水管」は、本市水道局が6月に開催した水道まつりの企画の一つであり、実際に使用するNS形ダクタイル鉄管φ600mmを展示し、来場者に思いのメッセージ等を書いていただき、次回の布設替まで埋設するといった、タイムカプセルをイメージしたものです。

今後も、本市水道局のパーパスである「100年後も変わらない『安心』を蛇口から」の思いを実現、将来に継承できるよう、また、こうしたイベントを通じて市民の皆様が水道事業への関心を持っていただながら地域に寄り添った事業展開を進めていきたいと考えています。

<山口県光市水道局 工務課

送水施設担当係長兼計画係 阿武大輔様>



施工情報システムⅡ

弊社では、尾道市上下水道局発注の配水用ポリエチレン管φ150mm×278mの工事において、事業者からの推奨を受け、クボタの施工情報システムⅡを採用しました。

現場で機器の操作に慣れるのに、少し時間を要しましたが、以下2点の採用メリットを感じました。

① 現地でガイダンス通りに接合作業を進めるだけで、チェックシート・工事日報がクラウド上に作成されるため、事務所での書類作成業務の簡素化・残業時間の削減を図ることができました。

② 配水用ポリエチレン管の継手融着において、規定の冷却時間が経過しないとアプリの接合手順が進まないため、確実に接合品質を確保できるという安心感が得られました。施工情報システムⅡの採用により、事業者が推奨する、現場のIT化が大きく進んだと思います。施工情報システムⅡのさらなるシステム向上を期待しております。

<広島県尾道市 株式会社井上設備 小林様>

